

1. 3月全国行事

1) 春の全国火災予防運動

3月1日～3月7日

(建築物防災週間、車両火災予防運動)

2. 他社の事故・災害事例から : 卓上の乾燥器が爆発して重傷

3. 今月のヒヤリハット

1. 3月全国行事

1) 春の全国火災予防運動

3月1日～3月7日

「消すまでは 心の警報 ONのまま」

3月1日から7日まで1週間、全国一斉に「春の火災予防運動」が実施されます。まだまだ寒さが残り家庭や職場でストーブ等の暖房器具など火を使用する機会が多く又空気が乾燥し、ちょっとした不注意から火災が発生しやすくなります。火の取扱いには十分注意し、火の用心を心掛けましょう。



2. 他社の事故・災害事例から : 卓上の乾燥器が爆発して重傷

<災害のあらまし>

金属工場の試験室で、金属部品(フレキシブルチューブ、径15mm、長さ200mm、30本)の耐腐食性試験を行うため、エチルアルコールでチューブ内を洗浄し、防爆式乾燥器で乾燥させていたところ、乾燥器内で爆発がおこり、乾燥器の扉が爆圧で外れて飛び、付近にいた試験作業員(女性23歳、経験1年)が背中を負傷し休業6日間の災害になりました。

<災害の主な原因>

- ①乾燥器(設定温度95℃)に入れた試料からエチルアルコールが気化して器内が爆発性混合気になり、それに乾燥器内のニクロム線が着火源となって爆発したこと。
- ②乾燥器内のニクロム線の防爆構造の一部が破損してニクロム線が露出していたこと。
- ③アルコールを十分に除去しないまま乾燥器に入れたこと、など。

<同種災害の防止対策 例>

- ①化学物質等を使用する作業は、その危険性や有害性に対応した作業手順を決め、安全な取扱いを徹底する。
- ②試験機器等は責任者を決めて定期的に点検を実施し、完全な状態で使用する。
- ③危険物を使用する乾燥器等は、万一、内部で発火・爆発しても被害が及ばないような構造のものとする。
- ④各人が常に潜在危険を考慮して作業を行うよう教育・訓練を実施し、習慣化を図る、など

3. 今月のヒヤリハット:各事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

「自分に見えない自分のまわり 仲間の注意はすなおにうけて」

事例	脱脂液がサンプルビンより飛び出し、白衣にかかった。
どこで	実験室で。
あらまし	脱脂液の入ったサンプルビンを振った直後にキャップを開けた為、液が飛び出し白衣及び実験台の上に飛び散った。
原因	サンプルビンを振った直後にキャップを開けた為。
教訓・対策	内容液が飛び出す可能性のあるビンのキャップを開けるときは、ゆっくり開ける。

事例	電気ドリルを使用中、保護メガネをつけなかった。
どこで	工場内で。
あらまし	電気ドリルを使用して穴を開ける作業を始めたときに、保護メガネを着用していないことに気が付いた。
原因	事前に危険予知を行っていなかったこと。
教訓・対策	危険を伴う作業を実施する作業員は、前もって危険予知をすること。

4. その他

<WORMBIZ> 「暖房に頼り過ぎない」「寒いときは着る」働きやすく暖かく、格好よい
ビジネススタイルで節電対策をお願いします。

「分別一つで大違い みんなの努力で環境保全」 H25年度環境保全最優秀作品